

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SANKYO

コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 石原 明彦

TEL 03-5778-7777(代)

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	63,456	177.5	20,487	—	20,707	—	16,277	—
25年3月期第1四半期	22,864	△27.7	1,217	△79.7	1,805	△75.2	947	△70.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 16,349百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 627百万円 (△80.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	174.14	—
25年3月期第1四半期	10.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第1四半期	486,484	—	412,246	—	84.7
25年3月期	464,259	—	402,918	—	86.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 412,246百万円 25年3月期 402,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	102,000	89.7	25,000	259.6	26,000	239.1	20,000	334.1	213.96
通期	200,000	92.0	32,000	355.6	34,000	258.3	25,000	327.1	267.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	97,597,500 株	25年3月期	97,597,500 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	4,124,391 株	25年3月期	4,124,256 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	93,473,190 株	25年3月期1Q	93,473,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）におけるわが国経済は、政府の経済・金融緩和政策を受けて、円高是正による輸出企業を中心とした企業収益の改善、株高による資産効果など、デフレ脱却への期待が高まりました。しかしながら、雇用・所得環境の改善までには至っておらず、輸入価格の上昇などの国内景気への影響が懸念されることなどから、レジャー支出も含めた個人の消費行動には依然慎重さがみられました。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、平成21年を底として、人気が回復しているパチスロの販売市場は引き続き堅調に推移しているものの、パチンコにつきましては、ファン人口の減少や、低貸玉営業の定着による客単価の低下などの影響を受け、パーラーは人気が確実に見込めそうな機種を選別や、購入台数を絞り込む傾向が見られ、パチンコの販売市場は低調に推移しております。

当社グループにおきましては、このような厳しい環境を踏まえ、当初は前期に投入を予定していたSANKYOブランドのパチンコ「フィーバー機動戦士ガンダム」や同パチスロ「パチスロ 創聖のアクエリオンⅡ」などの開発期間を延長し、商品力をより高めた上で市場投入を図り、ブランド力・販売シェアを回復することを最優先に取り組んでまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、これらの商品が概ね計画通りの販売結果となるとともに、一定の市場評価を獲得することができ、前年同四半期比では大幅増収増益となりました。

この結果、売上高634億円（前年同四半期比177.5%増）、営業利益204億円（前年同四半期は12億円）、経常利益207億円（前年同四半期は18億円）、四半期純利益162億円（前年同四半期は9億円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドでは「フィーバー機動戦士ガンダム」（平成25年4月）を中心に販売いたしました。B i s t yブランドでは「蒼天航路」（平成25年5月）、J Bブランドでは「マジカペ」（平成25年5月）、「ゴーストNEO」（平成25年6月）をそれぞれ販売いたしました。

この結果、売上高434億円（前年同四半期比298.6%増）、営業利益151億円（前年同四半期は4億円）、販売台数123千台となりました。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドの「パチスロ 創聖のアクエリオンⅡ」（平成25年5月）を販売いたしました。

この結果、売上高153億円（前年同四半期比168.7%増）、営業利益64億円（同288.2%増）、販売台数41千台となりました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高44億円（前年同四半期比27.3%減）、営業利益1億円（同60.0%減）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高2億円（前年同四半期比49.1%増）、営業損失96百万円（前年同四半期は83百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,864億円であり、前連結会計年度末と比べ222億円増加しました。これは主に有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が41億円減少となりましたが、現金及び預金が181億円、受取手形及び売掛金が89億円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は742億円であり、前連結会計年度末と比べ128億円増加しております。これは主に未払法人税等が63億円、支払手形及び買掛金が35億円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ93億円増加しました。これは主に配当金の支払い70億円により減少した一方、四半期純利益を162億円計上したことによるものであります。この結果、純資産は4,122億円となり、自己資本比率は2.1ポイント減少し、84.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の動向等を踏まえ、平成25年5月9日に公表しました第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。第2四半期連結累計期間におけるパチンコの予想販売台数は263千台から208千台、パチスロの予想販売台数は70千台から52千台に見直しております。なお、通期の業績予想に変更はありません。詳細につきましては、本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、下記のとおり連結の範囲の変更はありましたが、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社には該当いたしません。

（連結の範囲の変更）

前連結会計年度において連結子会社であった㈱吉井カントリークラブは、平成25年4月1日付で連結子会社である㈱三共クリエイトを存続会社とした吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,359	138,467
受取手形及び売掛金	44,401	53,385
有価証券	136,993	136,992
商品及び製品	9,039	5,737
仕掛品	300	647
原材料及び貯蔵品	1,338	1,116
その他	27,113	24,226
貸倒引当金	△40	△37
流動資産合計	339,504	360,537
固定資産		
有形固定資産	47,506	47,616
無形固定資産		
のれん	3,215	3,031
その他	351	372
無形固定資産合計	3,567	3,403
投資その他の資産		
投資有価証券	68,344	68,212
その他	5,720	7,099
貸倒引当金	△4	△5
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	73,681	74,926
固定資産合計	124,755	125,947
資産合計	464,259	486,484
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,327	44,861
1年内返済予定の長期借入金	506	511
未払法人税等	1,677	8,001
賞与引当金	821	1,329
その他	8,858	11,308
流動負債合計	53,191	66,013
固定負債		
長期借入金	2,658	2,658
役員退職慰労引当金	695	714
退職給付引当金	3,641	3,694
資産除去債務	58	58
その他	1,095	1,099
固定負債合計	8,149	8,225
負債合計	61,340	74,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,880	23,880
利益剰余金	382,726	391,981
自己株式	△20,932	△20,933
株主資本合計	400,513	409,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,405	2,477
その他の包括利益累計額合計	2,405	2,477
純資産合計	402,918	412,246
負債純資産合計	464,259	486,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	22,864	63,456
売上原価	11,954	31,655
売上総利益	10,910	31,800
販売費及び一般管理費	9,693	11,313
営業利益	1,217	20,487
営業外収益		
受取利息	267	258
受取配当金	181	228
持分法による投資利益	63	—
その他	79	81
営業外収益合計	591	569
営業外費用		
支払利息	1	1
持分法による投資損失	—	336
その他	1	11
営業外費用合計	3	349
経常利益	1,805	20,707
特別利益		
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
固定資産廃棄損	25	1
特別損失合計	25	1
税金等調整前四半期純利益	1,779	20,709
法人税、住民税及び事業税	442	8,260
法人税等調整額	390	△3,828
法人税等合計	832	4,432
少数株主損益調整前四半期純利益	947	16,277
四半期純利益	947	16,277

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	947	16,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△311	36
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	36
その他の包括利益合計	△319	72
四半期包括利益	627	16,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	627	16,349
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,895	5,705	6,073	22,673	190	22,864	—	22,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,895	5,705	6,073	22,673	190	22,864	—	22,864
セグメント利益 又は損失(△)	421	1,664	311	2,397	△83	2,314	△1,096	1,217

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	43,428	15,327	4,416	63,172	284	63,456	—	63,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	43,428	15,327	4,416	63,172	284	63,456	—	63,456
セグメント利益 又は損失(△)	15,144	6,460	124	21,729	△96	21,632	△1,145	20,487

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。